

令和 6 年 3 月

ひかりが丘・あすか野・あすか台
白庭台・西白庭台・上町・上町台
小明町・辻町 自治会員の皆様

生駒市建設部事業計画課

奈良交通路線バス「ひかりが丘住宅線」「生駒ニュータウン線」の
運行継続の決定について

平素は、公共交通行政にご理解を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、令和 4 年 3 月に奈良交通株式会社（以下奈良交通）から廃止・見直しの
提案があった標記の路線について、今後も運行が継続されることに決定し
ました。

これは、地域の皆様の積極的な利用により、バス利用者数が増加傾向にあり、
収支改善の兆しが見えてきたことや、利用者・事業者・行政による三者協議等
において利用促進など継続して取組みを進めてきたことも、継続決定に大きな後
押しとなりました。（※詳しくは裏面の報道資料抜粋をご覧ください。）

路線再編の期限はなくなりましたが、利用者が減少すると再度路線の見
直しが必要となるため、持続可能な路線バス運行に向けて、今後も三者協議
での話し合いを継続し、三位一体で利用促進に取り組んでいきたい
と考えています。

自治会員の皆様におかれましても、地域のバスは「私のバス（マイバス意識）」
という思いで、お誘いあわせの上、積極的な利用をお願いすると共に、利用促進
の取組みへのご理解とご協力をお願いいたします。

なお、三者協議（利用者、奈良交通、市）の開催についての詳細は、下記 Q
Rコードをご参照ください。



生駒市ホームページ
三者協議（利用者、奈良交
通、市）の開催について

【お問い合わせ先】

生駒市 建設部 事業計画課 交通対策係
〒630-0288 生駒市東新町 8-38
TEL 0743-74-1111（内線 2521）
FAX 0743-73-3605
E-mail const-plan@city.ikoma.lg.jp

【資料1】

報道資料抜粋

【記者会見資料】

令和6年3月15日

奈良県生駒市



市内路線バス4路線を財政支援 運行継続が決定 生駒市と奈良交通(株)が連携強化に関する協定を締結

令和4年3月に奈良交通(株)から廃止・見直しの提案があった「ひかりが丘住宅線」「生駒ニュータウン線」など市内バス4路線は、今後も運行が継続されることに決定しました。対象路線の年間赤字額約3,000万円は、国等の補助制度を最大限活用しながら本市が財政支援します。具体的な支援方法や補填内容については、奈良交通(株)などの関係者と今後検討を進めていく予定です。

これまで対象路線においては、沿線ごとに地域住民・バス事業者・行政の3者による協議や利用促進などの取組みに加え、生駒市地域公共交通活性化協議会で運行継続に向けた検討を進めてきました。バスの利用者は増加傾向にあり収支改善の兆しも見えてきましたが、収支均衡が図られるように市が支援し、市民の皆さんの移動の不安を解消することが必要だと判断しました。

本日3月15日(金)に奈良交通(株)と協定を締結し、より一層連携を強化・協力して持続可能なバスネットワークの形成に取り組んでいきます。

利用者が減少すれば、路線再編について再度議論する必要が生じるため、引き続きバス100円DAY等のイベントの実施など利用啓発やそのほかの利用増進策の検討によって、安定した公共交通サービスの提供につとめます。

■ 連携・協定する内容

- (1) 持続可能な市内バスネットワークの確保に関する事
- (2) 路線バス利用促進に関する事
- (3) ドライバー不足の解消に関する事
- (4) バス利用環境の向上に関する事
- (5) (1)～(4)の実施に係る、本市からの財政支援の実施に関する事
- (6) その他、目的の達成に寄与する事項に関する事



生駒市ホームページ
市内路線バス4路線を財政支援
運行継続が決定

なぜ今後も 利用促進が 必要？



現行の運行を続けるための条件について

現行の運行を続けるための条件

・ひかりが丘住宅線・生駒ニュータウン線の 収支均衡

➡あと1便あたり6.1人/便※の利用増必要

※R4年度実績値
目標人数25.6人/便(R4年度実績19.5人/便)

・もしくは市内全体での収支均衡

➡市内全体で約3千万円の赤字

これまでの資料より

現状での運行期限 令和7年3月(R6.3月の期限から1年間延長)

【資料2】なぜ今後も利用促進が必要？

令和5年度の市内全体の赤字について

令和5年度第4回生駒市地域公共交通活性化協議会資料より抜粋

No.	路線名	関係市町村	R5年度見込み							うち生駒市 (千円)	
			経常収益	経常経費	損益	収支率	補助金・委託料等	補助金込損益			
			A (千円)	B (千円)	C=A-B (千円)	A/B (%)	D (千円)	交付元	C+D (千円)		
1	高の原高山	奈良市、木津川市、精華町	10,445	19,331	△ 8,886	54.0	1,701	国	△ 7,185	△ 3,552	※高の原高山線は、令和5年10月路線廃止
2	富雄庄田	奈良市	45,882	100,132	△ 54,250	45.8	8,597	国、生駒市	△ 45,653	△ 32,070	} △30,808千円
3	ひかりが丘住宅		82,729	113,712	△ 30,983	72.8			△ 30,983	△ 30,983	
4	生駒ニュータウン		55,438	69,694	△ 14,256	79.5			△ 14,256	△ 14,256	
5	北田原		45,096	63,647	△ 18,551	70.9			△ 18,551	△ 18,551	
	その他 12路線		1,547,609	1,385,766	161,843	111.7			161,843	65,052	
	合計		1,787,199	1,752,282	34,917	102.0	10,298		45,215	△ 34,360	

表のうち、高の原高山線については令和5年10月に路線廃止のため、それをのぞくと

➡市内全体で**約3千万円**の赤字

検討中の財政支援策について

令和5年度第4回生駒市地域公共交通活性化協議会資料より抜粋

No.	路線名	関係市町村	R5年度見込み							補助金込損益	
			経常収益	経常経費	損益	収支率	補助金・委託料等	交付元	C+D	うち生駒市	
			A (千円)	B (千円)	C=A-B (千円)	A/B (%)	D (千円)				
1	高の原高山	奈良市、木津川市、精華町	10,445	19,331	△ 8,886	54.0	1,701	国	△ 7,185	△ 3,552	
2	富雄庄田	奈良市	45,882	100,132	△ 54,250	45.8	8,597	国、生駒市	△ 45,653	△ 32,070	
3	ひかりが丘住宅		82,729	113,712	△ 30,983	72.8			△ 30,983	△ 30,983	
4	生駒ニュータウン		55,438	69,694	△ 14,256	79.5			△ 14,256	△ 14,256	
5	北田原		45,096	63,647	△ 18,551	70.9			△ 18,551	△ 18,551	
その他 12路線			1,547,609	1,385,766	161,843	111.7			161,843	65,052	
合計			1,787,199	1,752,282	34,917	102.0	10,298		45,215	△ 34,360	

※高の原高山線は、令和5年10月路線廃止

北生駒～傍示間の廃止案が提出されていた □ 内の富雄庄田線について、

国のフィーダー補助などの支援制度を活用できるように再編し、令和7年10月から財政支援を検討。

➡ 富雄庄田線に **約3千万円** の財政支援

なぜ富雄庄田線にだけ財政支援？

- ⇒ ・国の補助対象路線で、市の支援は協調補助となり、単独補助より負担軽減。
- ・そもそもの再編案が、北生駒以北の路線廃止であり、市民生活に与える影響が極めて大。

市内収支均衡について

No.	路線名	関係市町村	R5年度見込み		うち生駒市 (千円)
			補助金込損益		
			C+D (千円)	うち生駒市 (千円)	
1	高の原高山	奈良市、木津川市、精華町	△ 7,185	△ 3,552	
2	富雄庄田	奈良市	△ 45,653	△ 32,070	△ 2,070
3	ひかりが丘住宅		△ 30,983	△ 30,983	△ 30,983
4	生駒ニュータウン		△ 14,256	△ 14,256	△ 14,256
5	北田原		△ 18,551	△ 18,551	△ 18,551
その他 12路線			161,843	65,052	65,052
合計			45,215	△ 34,360	△ 808



うち生駒市 (千円)
△ 2,070
△ 30,983
△ 14,256
△ 18,551
65,052
△ 808

市内全体の赤字約3千万円に対し、富雄庄田線に約3千万円の財政支援を行うことで、おおよその市内収支均衡を達成。

ポイント 市内全体の赤字額分を財政支援するわけではない。

➡利用者減で赤字が増えると、また再編の議論に

なぜ今後も利用促進が必要？

➔バス路線の運行を継続していくため

(協議の期限がなくなっただけで、利用が少なければ見直しが必要になることは今後も変わらない)

今後も継続する取組みについて

利用者(地域)、奈良交通、市が三位一体で利用促進に取り組む。

主 体	内 容
利用者(地域)	三者協議を通じて、地域が主体となった利用促進を実施など
奈良交通	市や利用者の取組みへの協調、CI-CA plusの利用促進など
市	<u>バス運賃100円DAYの開催継続</u> 、市内交通マップの作成など

8月3日(土・どんどこまつり開催日)にバス運賃100円DAY開催決定！ 秋開催も計画中

ひかりが丘住宅線及び生駒ニュータウン線 第4回 三者協議 ニュース

このニュースは、ひかりが丘住宅線及び生駒ニュータウン線を今後も持続可能な路線とすることを目標に「住民」「奈良交通」「生駒市」の三者で話し合いをした内容をお知らせするものです。

今回は、前回の三者協議の内容を振り返った上で、地域住民が主体となった利用促進の取り組みを行うために、他地域の事例を参考に取り組みの案を話し合いました。次回の三者協議では、具体的にこれから試行していく取り組みを決めていきます。「こんな取り組みがしたい」などのアイデアをお持ちの方、取り組むことが出来る方は、是非ご参加ください。

【開催概要】

日時:令和5年7月6日(木)18:40~21:00
場所:あすか野自治会館
参加者:34名
(あすか野26名、白庭台3名、北田原町2名、辻町2名、西白庭台3丁目1名)

プログラム
①前回の振り返りと今後の進め方
②事例紹介
③意見交換



1. 前回の振り返りと今後の進め方

前回の三者協議で話し合われた内容を、最初に振り返りました。

※1 生駒市地域公共交通活性化協議会
詳細はHP(<https://www.city.ikoma.lg.jp/0000001239.html>)

前回協議での意見
<p>○実態やニーズを踏まえた路線改善の可能性について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・どのような時に誰が使っているのかを把握することが必要。 ・あすかのセンターから白庭台駅の利用が少ない。鉄道との接続が良くないことも一因であると考えられる。
<p>○行政の補助の考え方について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・あすか野団地口は公共交通の空白地となる。 ・バス事業単体で採算をとるのは難しい。公共交通があることで人口が増加し税収が増えるなど、多角的な評価と予算配分が必要。
<p>○利用促進の取り組みについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自治会でバス回数券を販売する。 ・長期的に若者(通勤・通学利用者)を呼び込む。など

三者協議と活性化協議会※1との役割分担
<p>(三者協議)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今後の路線のあり方を住民と協働で話し合う。 <p>(活性化協議会)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・バス事業者中心に運行形態の見直し案の検討を進める。
<p>(活性化協議会)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全市的に議論を進める。
<p>(三者協議)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域で出来る利用促進策を検討する。 <p>(活性化協議会)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市全体の取り組みや長期的な取り組みを検討する。

その後、生駒市から分科会の設置、今後の進め方について説明を行いました。
・三者協議で集約された地元の意見・利用促進策を踏まえ、路線ごとの検討を深く行うために、三者協議と活性化協議会の中に新たに分科会を設置することになりました。
・交通事業者へ燃料・物価高騰の支援を行うことで、**路線再編までの猶予期間をさらに1年間延長し、令和7年3月まで**とすることが出来ました。
・今後の予定として、令和5年12月を目途に今後の進め方について方向性を定めていきます。そのため、利用促進の取り組みの試行と振り返りを繰り返していきます。

R5		今後の進め方	R6	
5月	第3回三者協議	3者の立場の理解 今後想定されるシナリオの共有		
7月	第4回三者協議	利用促進 取組みの検討		取組みの試行
8月	第5回三者協議	利用促進 取組みの検討	10月頃	対応策(素案)の最終決定
		取組みの試行	12月頃	対応策の最終決定
10月	第6回三者協議	試行の状況報告・共有、中間検証 今後の取組み方についての検討 取組みの改善検討		
12月	第7回三者協議	今後の進め方について意見交換 試行の継続 or 方向の転換	4月	新たな運行
		取組みの試行		

※会議の進行状況を踏まえて、会議資料を一部修正

2. 事例紹介

本地域に効果の大きい取組みを創るため、参考となる他都市の事例を紹介しました。地域住民が主体となった先進事例を学んだうえで話し合いを進めました。

(紹介した事例)

- ・自治会を通じて住民にチケットの購入を依頼(長野県上田市)
- ・地元商店街組合等による買物客への乗車券進呈(富山県高岡市)
- ・協議会による市民サポーターの組織化(栃木県佐野市)
- ・コミュニティバス鹿ノ台線の買物補助券の配布(生駒市) など



コミュニティバス鹿ノ台線の買物補助券の配布

3. 意見交換

事例紹介を参考にしながら、地域住民で取り組める利用促進策を考えるため、班に分かれて意見交換を行いました。どういう人を対象にするのか取組みのターゲットを明確にして、地域で取り組むこと、行政・事業者と協力をお願いすることを話し合いました。

【話し合いで出された取組み(抜粋)】

周知を図る取組み

【ポスター等の掲出】

- ・地区内にポスターや回覧板で現状を周知し、利用を促す。
- ・あすか野地区以外の方にも、あすか野地区が困っていることを知らせる。

メリット付与の取組み

【商業事業者との連携】

- ・バス利用者には、「さきめしいこま」「いこまバル」のチケットがお得になるようにする。
- ・スタンプカードを作り、奈良北高校に配布する。商店のスペースを借りて、スタンプが貯まった生徒にアイスを渡す。

【公共施設との連携】

- ・市役所、図書館などの行政施設を利用する場合には、バス利用者にお得になるクーポンを配布する。

機会創出の取組み

【イベント等の実施】

- ・自治会館で行うカラオケイベントや麻雀大会などの地域のイベントに、あすか野地区外の人も来てもらう。
- ・飲食店とコラボして、飲み会のイベントを実施する。

【外出するきっかけの提供】

- ・生駒の商店のイベントやお買い得商品などの情報を流し、外出したくなるようにする。

現状把握の取組み

【アンケートの実施】

- ・あすか野保育園等で、アンケートを実施し、どんなバスだったら利用しやすいか、交通事業者に伝える。

運行経費の負担の取組み

【サポーター制度の設立】

- ・住民がサポーターになる。(クラウドファンディングなど応援する路線別に応募できる仕掛け、ふるさと納税?)
- ・市全体公共交通基金を募る。

【自治会等でチケットの購入】

- ・文化祭・夏祭りの景品で、バス回数券を配る
- ・自治会活動で積極的に貸切バスを利用する。

その他の取組み

- ・白庭病院が運行するバスを統合する。
- ・バス運賃が高くなっても乗る。
- ・ノーマイカーデーを実施し、その日は運賃を安くする。
- ・駐輪場よりもバス運賃を安くする。

4. 今後に向けて

今回の話し合いで出された取組み案の中から自分で取り組む案を選び議論を深めながら、実際に試行していきます。その状況を見ながら、今後の進め方を検討していきます。

連絡先: 生駒市 建設部 事業計画課

TEL 0743-74-1111 FAX 0743-73-3605

三者協議についての
生駒市 HP はこちら→



ひかりが丘住宅線及び生駒ニュータウン線 第5回 三者協議 ニュース

このニュースは、ひかりが丘住宅線及び生駒ニュータウン線を今後も持続可能な路線とすることを目標に「住民」「奈良交通」「生駒市」の三者で話し合いをした内容をお知らせするものです。

今回は、過去4回の三者協議とあすか野地域公共交通検討委員会(以下、あすか野特別委員会)から提案いただいた利用促進の取り組みの中から、実際に取り組むものを選択し、グループに分かれて実現に向け具体的に話し合いました。

【開催概要】

日時:令和5年8月10日(木)18:40~20:30

場所:白庭台中央集会所

参加者:14名

(あすか野6名、白庭台3名、西白庭台一丁目1名、あすか台1名、ひかりが丘1名、辻町1名、北田原町1名)

プログラム

- ①前回の振り返りと今回の進め方
- ②取り組みを考えるワーク



1. 前回の振り返りと今回の進め方

前回の三者協議で話し合われた内容を、最初に振り返りました。その後、今回の進め方について説明を行いました。

- ・前回までの三者協議会で出された案やあすか野特別委員会にご提案いただいた案を、テーマごとに下記6つにグループ分けしました。
- ・今回は、この6つのグループの中で関心のあるテーマに分かれて、実際に取り組むを進められるように具体的に話し合いを進めました。

【今までに提案された取り組み案一覧】

グループ	内容
1. 周知	利用促進のための広報活動
	利用促進運動の実施
	バス停時刻表の全戸配布
	バス利用の特典がある店舗の案内マップを作成
	市や奈良交通による施策を自治会で広報する
2. 現状把握	あすか野保育園の保護者らにむけた利用ニーズ調査・利用促進
	全路線の利用者ニーズを調査
	公共交通問題に取り組む特別委員会を設置
3. メリット付与	スタンプカードを活用した高校生の利用促進
	日常的な買い物に対する、バス利用者への特典付与
4. 機会創出	バルテラスのイベントと連携した利用促進
	夏祭りの景品に回数券を復活
	文化祭等の自治会行事での貸し切りバス利用の復活
	麻雀イベントによる集客・利用促進
	商店街と連携したイベント開催
5. 運行経費負担	イベントによる需要創出
	バス回数券などの配布
	サポーター制度の設立支援
	夏休みの利用促進

グループ	内容
6. その他	沿線商店・飲食店・企業にバス車内広告出稿やバス停ネーミングライツの呼びかけ。
	生駒駅市営駐車場の値上げ
	生駒市内フリー切符等の企画券を奈良交通が作成し、生駒市ふるさと納税限定返礼品に。
	市役所、図書館などの公共施設を利用する場合に、バス利用者にクーポンを配布する
	回数券の販売所を増やす
	専らバス便のみの市施設でのイベントはバス時刻を意識して開催時間を設定。
	自転車で駅まで通う利用者へむけた運賃の差額補助の取り組み
	通勤・通学者の利用促進
	白庭病院の独自バスの統合に向けたはたらきかけ
	住宅地とスーパーマーケット間の運行に向けた取り組み
	ノーマイカーデーの設定による利用促進
	小中学校で生駒市の公共交通を考える出前授業の実施や公共交通利用促進パンフレットの配布。
	ボランティアへの謝礼としての回数券の配布
	小明寺垣内バス停への駐車場の設置・図書館駐輪場のバス利用者への開放。
バス停付近の駐輪場整備	

2. 取り組みを考えるワーク

参加者の関心が高かった「周知+機会創出」、「運行経費負担」の取り組みについて2つのグループに分かれ、意見交換を行いました。どういう人を対象にするのかターゲットを明確にして、目的、方法、期待する効果、行政・事業者に協力をお願いすることを話し合い、取り組みを具体化していきました。

周知+機会創出

【企画名】

- ・バスにのろう！ポスターコンクール

【企画概要】

- ・バス利用を促進するためのポスターコンクールを開催
- ・対象者は市内の小学生
- ・冬休みの課題として市内全小学校で採用してもらうことを目指す

【取組の手順・役割分担】

- ①教育委員会に依頼するための企画チラシづくり
 - ・グループメンバーが案を作成、それをもとにグループ全員で内容について話し合う
- ②教育委員会・学校に依頼
 - ・企画チラシを持って生駒市から教育委員会を通じて各学校に依頼
- ③審査方法の確定
 - ・グループメンバーで数点まで絞り込み、市役所などで市民に投票してもらう
- ④審査会の開催
 - ・最優秀賞1名、優秀賞2名、自治会賞数名などを想定
 - ・賞品は今後グループメンバーで検討(オリジナルデザイン CI-CA(シーカ)など)
- ⑤応募作品の掲示
 - ・掲示場所をグループで検討
 - ・できればすべての絵を掲示できるとよい
 - ・市役所などの他、店舗などにも協力を求めたい

【取組体制】

- ・グループメンバー全員

【取り組み目標】

- ・できるだけ多くの子どもの絵を描いてもらう

【今後の予定】

- ・9月14日(木)18時40分に再度集まり、実施に向けた検討を進める



運行経費負担

【企画名】

- ・サポーター制度の導入

【企画概要】

- ・路線の存続を希望する地域住民から運行サポーター募り、寄付を募る
- ・寄付の一部を赤字補填や新規需要の開拓の取り組みに充当する
- ・運行サポーターを募るためのインセンティブ(買い物補助券など)の検討を行う

【取組の手順】

- ①協力店舗の発掘
 - ・鹿ノ台の取り組みを参考に、近隣スーパー(いそかわ・ハーベス)に協力依頼を行う
- ②協力依頼の資料作成
 - ・協力依頼のための資料を作成する
(あすかの地区の現状・課題や、あすか野地区、ひかりが丘地区でのニーズなど)
- ③共通定期券の検討
 - ・自治会で定期券を購入し、サポーターであればだれでも使える仕組みの検討を行う
- ④会員カードの検討
 - ・サポーターであることを証明する会員カードを作成し、さまざまなメリットが享受できる仕組みの検討を行う

【今後の予定・取組体制】

- ・あすか野特別委員会終了後に集まり、取り組みを検討する
- ・LINE グループを作成し適宜情報共有を行う



参加者・協力者等を募集しています

バス路線を維持するためには、今回お集まりいただいた方に加え、地域が一丸となって取り組みを進めることが必要です。上記の取り組みに興味のある方、「こんなお手伝いならできる」という方、「他にこんな取り組みをしてみたい」などの思いのある方は下記にご連絡ください。



ひかりが丘住宅線及び生駒ニュータウン線 第6回 三者協議 ニュース

このニュースは、ひかりが丘住宅線及び生駒ニュータウン線を今後も持続可能な路線とすることを目標に「住民」「奈良交通」「生駒市」の三者で話し合いをした内容をお知らせするものです。

今回は、8月に開催した第5回三者協議以降に実施した「バス運賃100円DAY」や「地域公共交通活性化協議会分科会」などの内容共有をおこない、現在取り組んでいる2つのグループの進捗報告を行いました。ポスターについては企画概要の説明、今後のスケジュール、新規メンバーの募集について、サポーター制度については、寄付の仕組み等について意見交換を行いました。

【開催概要】

日時: 令和5年11月16日(木)
18:40~20:30
場所: 西白庭台2丁目自治会集会所
参加者: 11名
(あすか野 3名、ひかりが丘2名、白庭台1名、西白庭台1丁目1名、西白庭台3丁目1名、あすか台1名、北原町1名、辻町1名)

【プログラム】

- ①前回の三者協議の振り返り
- ②この間の取り組みやバスの利用状況について
- ③各グループ(ポスター/サポーター制度)の取り組み状況と意見交換
- ④今後について



前回以降の取り組みやバスの利用状況について(行政の取り組み)

今年度8月と11月、公共交通の全市的利用促進の取り組みとして実施した「いこま周遊スタンプラリー」や「バス運賃100円DAY」の内容について共有しました。イベント実施時はひかりが丘住宅線・生駒ニュータウン線の1便あたり利用者数も増加しました。さらには、三者協議やあすか野特別委員会からの提案に対する取り組み状況と考え方についても共有を図りました。

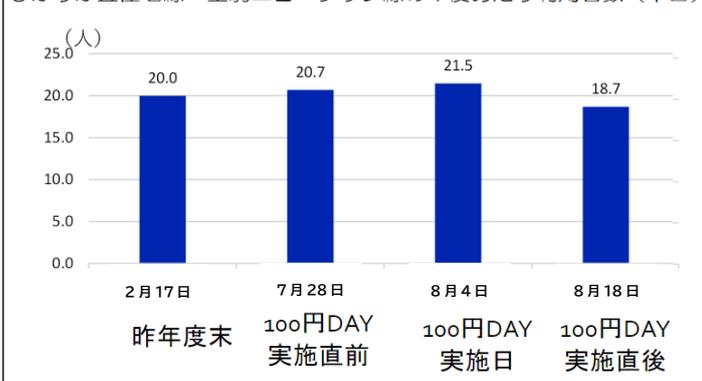


いこま周遊スタンプラリー

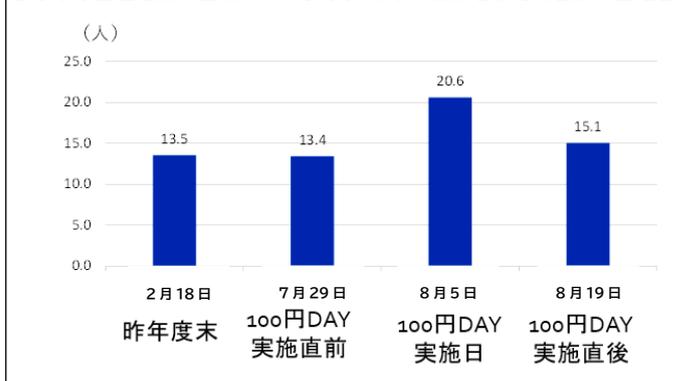


バス運賃100円DAYの実施

ひかりが丘住宅線・生駒ニュータウン線の1便あたり利用者数(平日)



ひかりが丘住宅線・生駒ニュータウン線の1便あたり利用者数(土曜日)



8月イベント実施時のバス利用の状況(提供:奈良交通株式会社)

住民主体の利用促進の取組みについて

バスにのろう！ポスターコンクール

【概要】

- ・バス利用を促進するために、市内全域の小学生・中学生を対象にポスターコンクールを開催
- ・冬休みの自主課題とし、応募された作品の展示および市長からの表彰を実施

【目的】

- ・路線バスの現状を、コンクールを通じて広く周知する。
- ・今後の利用のきっかけをつくる。

【展示場所】

- ・たけまるホール(予定)

※正式な日程は決まり次第市 HP、すぐーるで周知予定

-前回以降の取組み-

- ・企画内容の打合せの実施
- ・小学校・中学校・自治会にポスターを配布
- ・賞品及び景品については、奈良交通が提供

-今後の取組み-

- ・11月中頃～市内の学校、公共施設、自治会掲示板等で周知
- ・作品の集約 審査員による審査、表彰準備
- ・令和6年2～3月 市内での展示、表彰式

サポーター制度

サポーター制度について、参加者の提案をお聴きしたうえで、先進事例を踏まえ意見交換を行いました。意見交換の内容を踏まえ、今後、企画内容を深めていくことになりました。以下に、参加者の意見をご紹介します。

当日の意見

- 市と事業者で寄附制度を作ってほしい。
- 住民が取組めることを考えていきたい。
- 事業者や行政ができることを進めてほしい。
- ふるさと生駒応援寄附を活用して、特定の路線を支援したい。
→ 制度上そういった活用方法はできない。
- 奈良交通が個人から寄附を受け取る方法について検討を進める。
- 対象路線の定期券を購入することで、直接的な支援となる。複数人で共有することもできる。
- 定期券を自治会で購入し、自治会での取組みやイベント等で活用するなどはどうか。
- 単年度なら寄附も集まるだろうが、何年も続けていくにはインセンティブが必要。
- 寄附金が募られている状況や活用の状況をお知らせすることで、支援の輪を広げられないか。
- 現在バスの日常利用がかなわない人も応援できるような制度としたい。
- 寄附を集める先をまず決めるべき。
- 周辺施設・企業と連携して取組んではどうか。

参加者・協力者を募集します

バス路線を維持するためには、今回お集まりいただいた方に加え、地域が一丸となって取組みを進めることが必要です。上記の取組みに興味のある方、「こんなお手伝いならできるといふ方、「他にこんな取組みをしてみたい」などの思いのある方は、下記にご連絡ください。

連絡先:生駒市 建設部 事業計画課

TEL 0743-74-1111 FAX 0743-73-3605

三者協議についての
生駒市 HPはこちら→



ポスター
コンクール
案内チラシ
QRコード→



賞品には、バス啓発のお菓子やトートバッグなど、参加賞はクリアファイルを想定



ひかりが丘住宅線及び生駒ニュータウン線 三者協議 ニュース 令和5年度まとめ

このニュースは、ひかりが丘住宅線及び生駒ニュータウン線を今後も持続可能な路線とすることを目標に「住民」「奈良交通」「生駒市」の三者で話し合いをした内容をお知らせするものです。

令和5年度は4回の三者協議を開催し、さらに個別のグループに分かれ利用促進等を進めてきました。

取組みのひとつ「バスポスターコンクール」は、応募をいただいた多くの作品の展示会を開き、たくさんの方に見ていただくことができました。また、「サポーター制度の導入」についても継続した取組みを進めてきました。

今回、「三者協議等に取り組んでいること」「利用者数が増加傾向にあること」「市が財政支援を行うこと」などを受け、奈良交通と市が協定を結ぶことで、今後も本路線の運行が継続されることが決定しました。今回のニュースでは、今年度の活動や、現在の取組み状況、さらには、運行継続について、今後も利用者が減少すれば、路線再編について再度議論が必要となるため、来年度も三者協議を継続し、利用促進に一層取り組んでいくことなどをお伝えします。

今年度の三者協議の活動報告

各回の協議の様子

●第3回 5月31日(水)19:00~21:00 @北コミュニティセンター

14名 白庭台2名、西白庭台3丁目1名、
あすか野7名、あすか台1名、小明町2名、
辻町1名

- ・ 三者協議の位置づけの説明
- ・ 三者の状況の説明
- ・ 今後想定されるシナリオの共有



●第4回 7月6日(木)18:40~21:00 @あすか野自治会館

34名 あすか野26名、白庭台3名、北田原町2名、
辻町2名、西白庭台3丁目1名

- ・ 路線再編の猶予期間延長
- ・ 事例の紹介
- ・ 利用促進の取組みの検討



●第5回 8月10日(木)18:40~20:30 @白庭台中央集会所

14名 あすか野6名、白庭台3名、
西白庭台1丁目1名、あすか台1名、
ひかりが丘1名、辻町1名、北田原町1名

- ・ 2つのグループに分かれて検討
「サポーター制度の導入」
「バスポスターコンクール」



●第6回 11月16日(木)18:40~20:30 @西白庭台2丁目自治会集会所

11名 あすか野3名、ひかりが丘2名、白庭台1名、
西白庭台1丁目1名、西白庭台3丁目1名、
あすか台1名、北田原町1名、辻町1名

- ・ バス運賃100円DAY結果
- ・ 取組みの進捗共有、意見交換



のべ73名の方の参加のもと、路線存続のため議論を交わし、さらには利用促進に向け取り組んできました。

「サポーター制度の導入」報告

皆様の寄付をお待ちしております！！

寄付等により、運行経費を支援する仕組みづくりを目指し取組みを進めています。取組みのひとつとして、令和6年1月に、市のふるさと納税のトップメニューに【公共交通】を追加しました。寄付金は、市内の公共交通ネットワークの拡充や利用促進などに活用されます。

奈良交通(株)への直接寄付する仕組みづくりにも取り組んでおり、今後も継続して取組みを続けていきます。

NEW! 【公共交通】移動しやすいまちづくり



生駒市 HP



路線バスやコミュニティバス「たけまる号」など、市民の移動を支える公共交通サービスに活用します。

- ・バスなどの公共交通ネットワークの拡充
- ・公共交通の利用促進
- ・市民・事業者・行政による持続可能な公共交通サービスの確保 など

「バスにのろう！ポスターコンクール」報告

「バスにのろう！ポスターコンクール」を開催しました！！



市内の小・中学生を対象に、バス利用啓発につながるポスターを募集。小学低学年の部で54作品、小学高学年の部で9作品、中学生の部で22作品、計85作品と多くの応募をいただきました。

令和6年2月にたけまるホールでの展示と市民投票を実施し400票もの投票を頂き、3月に市役所での展示を実施しました。

各部門で最優秀賞、優秀賞、特賞、市民投票による特別賞を決定し、3月22日には市役所で表彰式を行い、市長から賞状、奈良交通(株)から

副賞の贈呈を行いました。最優秀賞に輝いた3作品については、路線バスの背面にラッピングし、市内を中心に約1年間運行する予定です。市内のどの路線を走るかは日によって異なりますので、運良くラッピングバスに乗れるかも知れません。掲出期間中に、ぜひラッピングバスにご乗車ください。



【バスに乗ろうポスターコンクール表彰式】



【ラッピングバスお披露目式】



【ラッピングバスのイメージ】

今後について

ひかりが丘住宅線及び生駒ニュータウン線については、これまで令和7年3月を現運行の継続期限とし、収支均衡を目標に地域の皆様・事業者・市が一体となり、利用促進に取り組んできました。三者協議等の取組みを継続して進めてきたことも大きな後押しとなり令和6年3月15日に市と奈良交通(株)とで協定を締結し、今後も運行が継続されることに決定しました。

しかし、利用者が減少すれば、再び路線の見直しを議論しなければなりません。路線を持続可能なものとするためには、利用促進の取組みを通じて、少しでも利用者を増やしていくことが大切であることは変わりません。今後も三者協議を開催し、取組みを継続していきますので、引き続き皆様のご理解とご協力をお願いします。

生駒市 HP
「市内路線バス4路線を財政支援
運行継続が決定」



引き続き参加者・協力者を募集します！

バス路線を維持するためには、今まで三者協議に参加いただいた方に加え、引き続き、地域が一丸となって取組みを進める必要があります。バスの利用促進の取組みに興味のある方、「こんなお手伝いならできる」という方、「他にこんな取組みをしてみたい」などの思いのある方は、下記にご連絡ください。

連絡先:生駒市 建設部 事業計画課
TEL 0743-74-1111 FAX 0743-73-3605

三者協議についての
生駒市 HP はこちら→

